

あなたの親知らずは大丈夫？



Q1 はえ方の悪い親知らずを放っておくとどうなる

現代人のあごは退化傾向にあり、小さくなりつつあります。それに対して歯の大きさは変わらない為、もっとも遅く生えてくる親知らずは生えるスペースがなくなっています。その為あごの中に埋まっていたり、斜めになって前の歯に引っかかっていたりすることが多く、一部分のみ歯肉から出ています。当然歯を磨くことは出来ない為、不潔になり、疲れていたり、体調が悪くなると腫れたり、痛くなるもととなります。また、前にある第二大臼歯が虫歯になり、大事な歯の寿命を短くしてしまいますし、親知らずが前の歯を押して、歯並びが悪くなる原因となります。したがって、問題が起ってから悩むよりは早期に抜歯することをお勧めします。



Q2 親知らずはどうやって抜くの？

抜歯の前に、通常歯の治療で用いる注射の麻酔をします。そのままでは抜けないので、歯肉を少し切り、歯を分割して抜歯します。場合によっては周囲の骨を少し削ります、後は歯肉を縫って終わりです。抜いた後は麻酔が切れてくると痛みを生じるので痛み止めを早めに飲みます。また、2日ぐらいかけてだんだん腫れてきます。しかし、これは数日のうちに自然に引いていきます。抜歯当日はなるべく安静にいただいた方が良いです。



Q3 入院して親知らずを抜く？

入院して歯を抜くと聞くと、驚かれる方は多いと思います。生えてくる歯の抜歯は入院して抜歯する必要性はないかもしれませんが、歯肉の下にもぐっている親知らずが2本以上ある場合は入院して一度に全て抜歯してしまったほうが1本づつ外来で抜歯するよりはるかに楽です。



Q4 入院して親知らずを抜くメリットは？

手術後の痛みや出血の処置も万全です。
抜歯後の痛みや出血の心配もいつでも看護師に相談できます。

抜歯後の食事の心配がいりません。
栄養士が食べやすい食事を用意します。

一回の入院でまとめて抜歯することができます。

通院の処置に比べ痛み、腫れ、出血を少なくするため特に問題が無ければ一回の処置で全ての親知らずを抜くことができます。海外留学や結婚前など時間が無いとき、または学校や会社等を休む時間が短縮できます。

腫れや痛み、出血が少なくなります。
必要に応じ、腫れや痛み、出血を抑える薬を使います。



安心して歯を抜くことができます。
通常使う局部麻酔の他に静脈内鎮静剤を（気持ちをリラックスさせる効果）使い安心して楽に歯を抜くことができます。

全身の検査も含めて受けられます。
入院処置を受ける場合は血圧、脈拍他全身検査も行いますので他の病気のスクリーニングとしても有用です。

入院費用について

概算で、歯を局部麻酔で4本抜いて2～3日間入院した場合その間の処置薬、手術代など全て含んで3万円程度です。（3割負担）（全身麻酔は別途加算です）親知らずや抜歯を受けられる方の全身状態により差がありますので担当医にご相談下さい。

詳しくは担当の先生にご相談下さい